

令和3年度文部科学省がん教育シンポジウム

新潟県の高等学校における「がん教育」の実践について



新潟県教育庁保健体育課
指導主事 渡邊 修二

1

発表内容

- (1) これまでの新潟県の取組
- (2) 令和3年度の新潟県の取組
- (3) 授業指定校の実践について
- (4) 実践から得た「成果」と「課題」
- (5) 今後のがん教育の推進に向けて

2

新潟県教育委員会のこれまでの取組

○平成28年度より文部科学省委託事業「がん教育総合支援事業」

- (1) **がん教育推進協議会**
 - ・がん教育の推進に向けた事業の検討及び評価
 - (2) **がん教育研修会の開催**
 - ・学校教職員等に対する研修会
 - (3) **授業指定校によるがん教育の実践**
 - ・学習指導要領に対応した授業の実践
 - (4) **外部講師の体制整備**
 - ・外部講師によるメッセージ映像（がん経験者等）の作成
- ※ **成果物**
- ・がん教育の手引き、実践事例集、リーフレット 等

3

令和3年度の新潟県教育委員会の取組

- (1) **がん教育推進協議会**
 - がん教育の推進に向けた事業の検討及び評価
- (2) **がん教育研修会の開催**
 - 効果的な授業実践に向けた、授業ポイントの周知等
- (3) **授業指定校によるがん教育の実践**
 - 県立高等学校3校の授業実践と外部講師の活用
- (4) **外部講師の体制整備**
 - 外部講師によるメッセージ映像（がん経験者等）の作成、配付
 - 外部講師リストの作成、配付

4

授業指定校の選定について

○これまでの新潟県の取組：**授業実践** + **教材作成** … 小・中学校中心

がん教育：「**発達段階に応じた、系統的、継続的な学びが重要**」

○令和3年度は、高等学校に特化

高等学校の取組を推進し、発達段階に応じた継続的な学びの充実

○県立高等学校3校を、授業指定校に選定

①医療系コース設置校 ②実業系専門高校 ③小規模校

- ・高等学校の特徴を踏まえた指定校の実践
- ・学校や地域の実情に応じた取組の推進
- ・外部講師を活用した指導方法

5

令和3年度の授業指定校の取組

○県立新発田高等学校（医療系コース設置校）

- ・【テーマ】がん予防についての理解と意思決定・行動選択
- ・【内容】①がんの種類と原因 ②がんの予防（早期発見・早期治療、がん検診）
③HPVワクチンの事例からがん予防の意思決定・行動選択を考える
- ・【講師】医師

○県立巻総合高等学校（実業系専門高校）

- ・【テーマ】『がん』との共生～『がん』と共に、『がん患者と共に』～
- ・【内容】①がんの早期発見とがん検診 ②がんとの共生
③がん患者と共に生きるために ④外部講師からのメッセージ映像
- ・【講師】がん検診受診者

6

令和3年度の授業指定校の取組

○県立佐渡総合高等学校（小規模校・離島）

- ・【テーマ】がんを通して考える自分と家族の健康
- ・【内容】①がんとは、がんの現状、がんの早期発見とがん検診の理解
②がんの治療における緩和ケア
③がん患者への理解と共生
- ・【講師】がん経験者

◆新潟県の実情

- ・離島や山間地域といった環境面の特徴があり、外部講師の派遣が困難な状況となる場合もある。

ICTを使用した外部講師活用の実践

7

県立佐渡総合高等学校における取組

授業構成（3時間）

【1時間目】

- ・「がんの基礎知識」の理解（教師）

【2時間目】

- ・「緩和ケア、がんとの共生」の理解（教師）

【3時間目】

- ・「がん及びがん患者」の理解を深める（外部講師）

知識
↓
課題学習
↓
理解促進

8

県立佐渡総合高等学校の実践①

【外部講師との事前打合せ】

○授業者と外部講師による**オンライン打合せ**

<内容>・授業の日程と講演内容の確認 ・使用機器の動作確認
・外部講師の講演スライドの確認 ・トラブル対応の確認

○オンラインでの実施により、**当日の予行**となる
○機器の確認により、**トラブルの想定**につながる

○県の担当者の関わり

○打合せ内容や課題について、授業者と検討・確認
○外部講師のオンラインに対する不安等への対応

県立佐渡総合高等学校の実践②

【外部講師によるオンライン講演（概要）】

○対象：1学年全体

○会場：体育館

○講師：**がん経験者**

○方法：**Web会議システム「Zoom」を使用**
・体育館ステージの壁に映像を投影

○構成：①講師紹介(5分) ②講演(45分) ③質疑(10分)

県立佐渡総合高等学校の実践③

【外部講師によるオンライン講演（内容）】

○テーマ：ともに考えてみませんか

「がん」について「命」について

○内容：①がんの基礎的な知識 ②がん治療の体験談
③命や寿命について ④がんと闘うために

※外部講師の体験談に加え、**外部講師の家族(子ども)が、講師が「がん」に罹患した時の心情等を語る動画を上映** → **生徒の共感**

授業実践の成果と課題①

○授業者より

【成果】

・オンライン講演は、事前の打合せ、動作確認、不測の事態に備えた**丁寧な準備により、有効な手段**となる。
⇒ **当日のPC不具合に落ち着いて対応**

【課題】

・**画面の使い方**（スライド・講師の見せ方等）の工夫
⇒ **会場で実際に講演しているように（講師の表情等）**

授業実践の成果と課題②

○外部講師より

【成果】

- ・ コロナ禍や環境面を考えた場合、オンラインによる講演は新しい取組として**可能性のある選択肢となる**

【課題】

- ・ オンラインでは、画面に向かって話をしているため、**生徒の反応が確認できない**
(対面による講演は生徒の表情や反応を確かめながら実施可能)

13

授業実践による成果と課題③

○Web会議システムを使用した外部講師のオンライン講演について

【成果】

- ・ **環境や天候**、外部講師の移動等への**影響がない**
- ・ **活用方法の多様性**（短時間の質疑や体験談など）

【課題】

- ・ 外部講師が**生徒の反応を確認することが困難**
- ・ **通信機器等の整備及び事前確認の徹底**
- ・ **通信遮断などのトラブルへの対応の確認**

14

その他のがん教育推進の取組

○外部講師の活用を推進した取組

【外部講師のメッセージ映像を収録した教材の作成】

- ・ 新潟県にゆかりのある方の出演
- ・ 3～5分程度にまとめた体験談
- ・ 県内公立学校と市町村教育委員会に配付
- ・ 作成にあたり、大学教授に協力を依頼
(新潟医療福祉大学・杉崎教授)
⇒ **出演者や内容が充実**

メッセージ映像にすることにより、

- ・ 通常の授業内で、**手軽に活用が可能**
- ・ 著名人の話から**生徒の興味や関心度が向上**
- ・ テレビに外部講師が出た際に、がん教育を思い出し、**家族とがんについて語るきっかけ**となる

15

今後のがん教育推進に向けて

○教員及び外部講師の指導力向上の取組継続

- ・ 研修会を開催し、**がん教育に関する情報等の周知**
- ・ 学校におけるがん教育に係る**共通理解の促進**
(学校 ⇄ 外部講師：互いの理解を深める)

○外部講師を活用した授業の促進

- ・ **外部講師リスト**及び**活用方法の周知**
- ・ 外部講師を活用した**実践事例の紹介**

16

ご清聴ありがとうございました

